



特別企画

あさひが丘の現状を見据えて

第1部

新春のお慶びを申し上げます。コロナの感染予防のため、年末年始の帰省を自粛された方も多かったと思います。一日も早い収束を願います。

昨年に引き続いて令和3年の今年も、私たちあさひが丘住民は多くの問題を抱えております。第1部と第2部の2部構成で、それらをひとつひとつ取り上げて行きます。

安心して住める街づくり

あさひが丘連合自治会会長 尾田豊機

あけましておめでとございます。

あさひが丘連合自治会員の皆様には健やかに新年を迎えられたこととお慶び申し上げます。

コロナ感染予防の呼び掛け

昨年は、新型コロナウイルス感染拡大予防のため、総会、クリーンキャンペーン、納涼大会、大運動会、秋祭り、防災フェア、音楽祭などすべての行事を中止しました。

特に、納涼大会は45回記念大会を予定し、住民の皆様も楽しみにしておられただけに残念です。

団地住民の皆様には一時期、集会所



安心して住める街づくりを目指す
連合自治会長の尾田豊機さん

自治会館などを休館とし、広島市の感染予防対策の回覧などで手洗い、消毒、マスク着用、三密を避けるなど、感染予防を呼び掛けてまいりました。

広島市では多数の感染者が発生しましたが、あさひが丘団地住民の皆様は昨年12月初旬現在、感染者は発生しておりません。これもひとえにウイルス感染予防対策の趣旨をご理解いた

第63号
令和3年1月発行
連合自治会広報部

だき、ご協力くださったたまものと感謝申し上げます。

一日も早い新型コロナウイルス感染症の収束と皆様のご健康をお祈り申し上げます。

相次ぐクマの出没

また、過去には後山地区、毛木地区、荒谷林道で熊の出没、目撃情報などが度々発生し、団地内放送や回覧などで注意を呼び掛けたほか、熊の講習会を開くなど対策を講じてきました。

昨年10月22日と10月26日には団地住民宅の庭や公園に出没し、警察官や消防署員が出動して新聞やテレビで

大きく報道されました。

出没した付近には、「熊に注意」の看板の設置や柿の木の摘果など、注意を呼び掛けたところです。

あさひが丘は、自然豊かな団地です。今後も団地内で熊、鹿、猪、タヌキなど獣被害の発生が予想されますので十分気をつけましょう。

今年も、子どもさんから高齢者まで安心・安全な暮らしができる災害に強い環境づくりと共に、もっと多くの子育て世代の方々に、あさひが丘団地へ移り住んでいただける街づくりを目指します。皆様方のご支援とご協力のほどよろしくお願い申し上げます。

広島市への改善要望

連合自治会副会長 濱中健次

あさひが丘連合自治会は、令和2年度も団地内と周辺の問題点をまとめ、広島市へ要望書を提出しました。

要望書の作成にあたり6月12日の第1回運営委員会で、各区会長に問題点のまとめをお願いしました。集まった問題点と、連合自治会で手持ちの要望案をまとめ、安佐北区に6件、安佐南区に3件の要望書を提出しました。

安佐北区への要望

要望1：高齢者の運転免許証自主返納が進み交通弱者が増加。救

済策として、バス特別料金制度を要望。

回答1：他都市の高齢者運転免許証自主返納事業を注視したい。

要望2：新安佐市民病院への直通バス運行ルートと道路拡幅案の提示。住民の声を聴いてほしい。

回答2：早い時期に地元の意見を聴く場を設けたい。

要望3：近隣公園への植樹依頼。

回答3：令和3年3月頃に、ソメイヨシノを5〜10本植樹の予定。

要望4：近隣公園トイレの改修。和式から洋式トイレへの改修希望。

回答4：引き続き予算要求を行い、事業化できるように努める。

要望5：T字交差点の歩道と車道間に

段差があり、車イスやベビーカーの通行を妨げている。

回答5：今年度改修する。

要望6：避難所開設時の事故補償。

回答6：現在、事前に確定していない事業は市民活動保険の対象外だが、改善しなければならぬと考えている。早急に対応策の検討を進めたい。

安佐南区への要望

要望1：県道勝木安古市線のスリッ

プによる凍結事故防止対策。

回答1：平成25年の工事で、凍結抑制

効果が期待できる舗装となっている。降雪前に凍結防止剤の散布など、適切な維持

管理を進めて行きたい。

要望2：歩道と側面の定期的管理。

回答2：来年度以降、定期的な作業実施を目指し予算要求する。

要望3：サンハイツ入口の拡幅。

回答3：実施には多くの問題あり。

改善に向けて前進した要望と、交渉の余地を残した要望に分かれました。引き続き要望書を提出し問題解決に向けて活動を進めてまいりますので、ご協力いただきますようお願い申し上げます。

J A広島市組織形態見直し あさひが丘支店を廃止

連合自治会事務局長 日高義宣

店舗再編に伴う地元説明会（実態は報告会）が令和2年9月24日、J Aあさひが丘コープビル大ホールで開催された。

J A広島市からは、吉川組合長、檜山専務の他役員、職員ら合わせて13人が出席。地元からは久地、毛木、あさひが丘、後山、宮野、筒瀬の組合員と自治会関係者など100人余りが出席した。

降って湧いた店舗再編話

冒頭、J A広島市から経営環境と地域社会の急激な変化により、組織形態を見直すことで生産性と採算性の向上を図るため効率的な店舗の再編と整備を実施する旨の報告がなされた。

要するに、安佐地区は令和3年10月25日をもってあさひが丘支店と久地南支店を廃止し、飯室支店に統合するという降って湧いた店舗再編話に、出席者が一様に困惑したのは明らかであった。

農業従事者である組合員からは、零細農家への支援がますます手薄となり農協本来のあり方から逸脱しているのではとの声も聞かれた。

あさひが丘団地は旧安佐町農協によって作られた特殊な事情がある。

「農協による事業」という安心感からあさひが丘に移り住んだ人々も多かったのではないだろうか。

避けられないサービス低下

現在高齢化が進み、独り住まいの高齢者も年々増加しているのが実情だ。

そうした事情も踏まえて、J A側は渉外係員を各家庭に派遣してサービス確保にあたると説明しているが、採算性から渉外係員を無闇に増やす訳にもいかず、サービス低下は避けられそうもない。

一方で自動車運転免許証返納者も

あさひが丘の現状を見据えて 第2部 座談会

特別企画

新型コロナウイルス感染防止のため、広い会議室のドアと窓を開け放つての座談会となりました。加えて、発言のときだけマスクを外していただくというご不便を、出席者の皆さまにお掛けしましたことを、この誌面を借りてお詫びいたします。

（広報担当）2021年（令和3年）

の年頭にあたり、「特別企画 あさひが丘団地の現状を見据えて」と題する



連合自治会長の尾田豊機さん

座談会を企画しました。
あさひが丘団地も例外に漏れず、いろんな課題を抱えておりますが、主だったものを教えていただけますか？

（尾田さん）平成25年にあさひが丘団地の活性化に関するアンケート調査をしました。「将来に一番不安になることは？」の問いに対して、①車を運転できなくなった時の移動、②バス路線の縮小、③スーパーなど

多くなり、バスを利用して飯室まで出かけるといっても、あさひが丘経由のバス便は現在、平日1日13便あるものの、J A飯室支店の営業時間内で利用できるのはわずか6便しかなく、これ以上の増便など考えられないことは明白。また、コープビル2階の事務所や、3階大ホールの利用がこの後どうなるかの説明もない。

事前の説明や関係者の意見を聞く場もなしに今回の決定に至った経緯は知るべくもないが、J A広島市本店の方々は周辺地域の窮状を、どの程度理解しておられるのだろうか。



まち起こし推進部の佐々木薫部長

の商業施設の撤退、④自身と家族の健康、⑤病院の撤退、⑥少子高齢化の進展、が挙げられました。これらの問題を解決するために取り組んで来ました。

団地が抱える大きな問題点としてこの6点のほかに、独り暮らし、二人暮らしの世帯が増えて来たことが将来において空き家が増えることが挙げられます。

(広報担当) 列挙くださった課題はどれも重要なものと思われます。コロナ禍への対応、広島市への要望事項、そして、JA広島市あさひが丘支店の店舗再編については、「第1部」で取り上げました。それ以外の喫緊の課題は、いかがでしょうか？

(佐々木さん) 空き家問題をはじめいろんな問題がありますが、そうしたことがないように「まち起こし」を急いでやって行きたいと思っています。

現在10年計画を立てて「まち起こ

し」を進めております。人口減少問題もありますが、今のところ大きな衰退は見られません。

そうなる前に活性化について手を打つべく尽力しています。

平成27年に「まち起こし推進部」が創設され、活性化へ向けて活動しております。

進む高齢化

(広報担当) 団地の活性化において高齢化が大きな問題となりますが、あさひが丘団地の人員構成はどんな状況ですか？

(尾田さん) 令和元年12月末の調査によりますと、団地内の全人口が6484人、65歳以上が2839人、65歳以上の高齢化率が43・8%となっています。

(広報担当) 団地ができた当初はまだ、若い世代が多かったと推測します。あさひが丘団地において、高齢化が問題視され始めたのは、いつごろからですか？

(尾田さん) 私が副会長をしていたときから高齢化が進んでいました。数字で捉えておりませんでした。平成25年になって統計を取りまして、団地の人口が7110人、65歳以上が2279人、65歳以上の高齢化率が32%であることが分かりました。これは大変だと思ったのが平成



25年のことでした。(広報担当) 平成25年の統計で数値化されたわけですね。現実問題として、どのような弊害が見られるのでしょうか？

(尾田さん) アンケートをして、将来の不安として挙げられた問題が現実のものとなっています。路線バスは昨年3月にウィークデイ1日3便、深夜の1便が減りました。アンケートしたときの問題が現実のものとなったわけです。

高齢者の運転免許証の返納が増え「足がない」という問題も現実のものとなりました。団地内の病院に関しては、院長が亡くなったことで歯科医院が廃業されました。

将来の不安が今、現実が発生しているのが現状です。スーパーなどの商業施設は、ビュアーックさんに頑張っていたいております。買い

物は地元で済ませることでスーパーなどの撤退を防ぎたいですね。(広報担当) それへの対策は、どんなことが挙げられますか？

(尾田さん) バスの減便については、「Happy Bus停プロジェクト」を広島市、中国運輸局、バス協会、広電バス、呉高専などの協力を得て立ち上げ、住民の皆さんのご協力をお願いしているところです。

(佐々木さん) 連合自治会に「まち起こし推進部」を創設して、まち起こしプランを立て、できることから実行して行く活動も行っています。

(広報担当) 効果のほどはいかがでしょうか？

(佐々木さん) 「まち起こしボランティア人材バンク」を募集し、現在21人の方が登録くださり、さまざまな分野で活躍していただいております。

なかでもホームページをリニューアルし現在35000ページビューを達成し、あさひが丘団地の魅力を発信しています。

今年はコロナ禍で開催できませんでしたが、文化的な行事としてあさひが丘音楽祭「まち起こしコンサート」を開催した折には大勢の入場者で盛会でした。

(広報担当) ところで、高齢化と並

ぶ深刻なものに、空き家問題がありますね。これについて、現状を教えてくださいいただけますか？

（尾田さん） 昨年の3月に各区の自治会長さんの協力を得て、家財がある空き家、家財のない空き家、高齢者の独り暮らし、二人暮らしを調査していただき、団地全体の地図に記入し、空き家マップを作成しました。家財のある空き家が42軒、ない空き家が81軒で、団地内の約2300軒中、123軒の空き家があることが判明しました。

高齢者の独り暮らし、二人暮らしのお宅が向後5年、10年の間に空き家になる可能性があると思われます。

見逃せない空き家問題

（広報担当） あさひが丘団地の総軒数約2300軒のうち、123軒が空き家とは、思った以上に多いですね。空き家が増える理由をどのようなお考えですか？

（佐々木さん） 高齢者が亡くなられたり、施設に入られたり、他の地域に住む子どもたちの家に移られるなどで空き家になっているのが現状です。その場合でも、家財がそのままになっており、他の人が入居できない状態になっているという問題があります。

（広報担当） 実際に123軒もの空き家がこの団地にあるわけですが、それをどのようにしようとお考えですか？

（佐々木さん） 家財が残っていると入居できないので、それをなくして行くことが必要と考えます。家財をなくす、あるいは更地にして次の人が入って来やすい状況を作っていく必要があります。

（尾田さん） 現在の空き家以外にも、独り暮らし、二人暮らしのお宅が将来、空き家になる可能性が高いのです。元気なうちに子どもさんやお孫さんたちと話し合せて、家財を残さないようにするには何を整備すればよいかを検討していただきたいと思います。

空き家になった場合に家財がなければ、次世代の人に住んでいただくことができますから。

住みよい団地にするために

（広報担当） 空き家問題について、あさひが丘団地の「空き家相談員」の記事が中国新聞に取り上げられていましたね。「空き家相談員」というのは聞きなれないことですが、これについて教えてください。

（尾田さん） 独り暮らし、二人暮らしの人が将来、動けなくなったとき、亡くなられたときに、この家を

どうするか、と悩んでいる人が結構多いのです。家財が残っていると、つまり子どもさんが相続するときに、どうしたらよいかわからない場合が多いですね。

連合自治会が開催した全6回の養成講座を受けた11人を空き家相談員として認定し、そのような悩み事を気軽に相談していただけるようにしました。

（広報担当） 中迫さんは相談員ですが、コメントいただけますか？

（中迫さん） 民生委員もやっているのですが、独り暮らし、二人暮らしの現状について、5、6年前に比べるとお歳を召された方が随分増えたという印象があります。

二人暮らしのお宅でも、老々介護になるのではという懸念があつて、そういった方々には相談員に聞いて欲しいですね。

ご自分が元気なうちに子どもさんと話をすることが大切だと感じました。相談したいということがあれば、専門家ではありませんが、お話を聞くことで解決の糸口を見つければ、お手伝いができるのではと思っています。



問題解消へ向けて

（広報担当） ここからは尾田連合自治会長に伺います。1年前の1月に発行した第61号で、新春特集として「あさひが丘団地の将来展望」第2弾の記事を組みました。そこで、山積する問題において「今年の重点目標」に的を絞って所信を述べていただきます。

五つ挙げられた「重点目標」について、これまでのお話と重複するかもしれませんが、今日の座談会を整理する意味で、ひとつひとつ進捗状況を教えてください。

まず、(1)高齢者の独り暮らしや要援護の方々への声掛けと見守りなど、高齢者見守り事業の取り組みを具体化し、活動を開始する案件について、どうぞ。

（尾田さん） 日浦の包括支援センターとの共同事業として、地域の支え合い事業があります。その中に「あさひが丘見守りネット」というのがあつて、団地の高齢者の方々が安全に暮らしていただけるように見守る、ということから始まりました。

日浦郵便局、中国新聞のあさひが丘販売所、介護施設などと協定を結んで「見守りネットワーク」を構築しております。



空き家相談員の中迫みどりさん

昨年1年間はコロナ禍の中で、こうした集まりがなかなかできなかったのですが、進展が遅れが生じてはおりませんが、こうした形でお年寄りの皆さんを見守って行こうという活動を展開しております。

(広報担当) 次に(2)空き家、空き家予備軍への対応として、空き家対策を含めた団地まち起こしのワークショップと勉強会を開催し、空き家サポーターの養成に努める案件については、先刻のお話にも出たので重複するかとは思いますが、どうでしょう？

(尾田さん) 団地の中には独り暮らし、二人暮らしのお宅が非常に多いです。そうした状況において、現在悩んでおられる方の悩みを解決するために、空き家を将来なくし、次世代に引き継いでもらうといったことの勉強会をスタートさせ、その集大成が空き家相談員の育成に繋がっていると考えます。

(広報担当) 空き家相談員の中迫さん、手応えはいかがですか？

(中迫さん) 連合自治会からアピールしてもらったり、講習会を開いてもらったりして、ひとりひとりの意識を上げて行くことも大切だと思います。

その上で何か相談されたいことがあれば、今講習会に参加している11人に相談していただくということが、空き家をひとつでも減らすことに貢献できると思っております。

(広報担当) 再び尾田会長に伺います。あさひが丘の高齢化と空き家問題は切っても切れない関係にあると思われませんが、高齢化率の上昇と連動して空き家の数は実際に増えているのでしょうか？

(尾田さん) 増えています。増えている空き家に次世代の方々が住んでいただけるよう努力しなければならぬと考えています。

そのためには、やはり住民の皆さんも空き家にならないための方策について、元気なうちに子どもさん、お孫さんと話し合っていたら、将来この家をどうしたらよいのかを検討いただければと思います。

最終的に決めるのはご家族なので、住民の皆さんにもご理解いただきたいと思っています。

(広報担当) (3)路線バスの減便対策

については先ほど話にも出しましたが、「Happy Bus 停プロジェクト」や「バスに乘ろう企画」を中心にバスの利用促進を図るというところでした。本号に「あやめ会」の活動を掲載しておりますが、実際にやってみて感触はいかがでしたか？

(尾田さん) 老人クラブ「あやめ会」の皆さんに賛同いただき、35人が参加くださいました。「これ以上バス便が減ったら困る」といった声をたくさん聞きました。「ひと月に1度はバスに乘ろう」という企画を立てましたが、団地の皆さまにもご理解ご協力くださいと思います。

(広報担当) さて、次の(4)運転免許証を返納する高齢者に対し、バス利用のための助成を広島市長宛てに要請されましたが、市長へ要望書を出された結果をお聞かせ願えますか？

(尾田さん) 団地の中で高齢者同士による交通事故が増えております。幸い大きな事故になっていませんが、現在のままではなかなか免許証を手離せないというのが現状です。

廿日市では既に実施されておりますが、返納者に対するバスの助成を行えば、運転免許証の返納が進むのではないかと考えています。

広島市へ要望書を提出しましたが、その返答は、「返納しやすい環境整備のため他都市の状況を注視して参

ります」とのことでした。

(広報担当) 新しい安佐市民病院が2022年に開院されると聞いております。日浦地区からの直行バス路線ルートの道路拡幅という問題がありますが、どのようになっておりますか？

(尾田さん) 先日、安佐町自治会長連絡協議会を開催し、本庁交通局の方にも来ていただいて、バス路線について検討を行いました。

あさひが丘団地住民の声として、くすのき台団地と三國地区とあさひが丘団地(周回)と後山と岡田トンネルと筒瀬と柳瀬と新安佐市民病院の新路線と、あさひが丘と宮野と八木間既存バス路線の新安佐市民病院への延長、の2路線を希望要請しています。今後はバス業者、国交省の認可など諸々の問題をクリアしての路線決定となる予定です。

(広報担当) 最後に皆さまに伺いたいと思います。あさひが丘団地に住む皆さんに望むことはありますか？

(佐々木さん) あさひが丘を活性化するためには住民ひとりひとりが積極的に活動に参加することが大事だと思います。

「高齢者は宝」なんです。皆さんの経験、知識を活用する余裕をお持ちです。持っておられる能力を大いに発揮して、あさひが丘のまち起

このために活かしていただきたい
と思います。

空き家も活用してゆけば「大きな
財産」になります。プラス志向でい
かに活かして行くかを、子どもたち
も含めて考えて行きたいですね。皆
の居場所と出番のあるあさひが丘に
して行きたいと思います。

（中迫さん）現実が高齢化が進んで
いますね。70代が80代になり、たま
にお会いすると「歳を取られたな
あ」と感じることも多くなりました。
た。

その方々が自分たちで活動するの
が難しくなっています。いろんな不
安を抱えておられると思うのです。
安心して最後まで自分の家で生活
できる環境作りが大切ですね。近所
の支え合い、コミュニケーションと
いったものが一番大切だと感じてお
ります。

（尾田さん）この1年、新型コロナ
ウィルスの感染予防のために全ての
行事が中止あるいは延期されまし
た。

そうした中で、これまで近隣の住
民同士が行事を通して交流を深めて
来ましたが、自粛規制のため触れ合
いが減って来たように思います。

コロナ禍で中止になった行事を復
活させて、その状態を見ながら新し
い行事を起こして行かなければなら

ないと考えます。

住民の皆様方もいろんな行事に積
極的に参加いただき、新たな絆を築
き、交流を深めていただきたいです
ね。

また若い世代の方にも積極的に参
加いただいて、「あさひが丘はふる
さと」であり、子どもさんたちにも
将来、あさひが丘に戻って来ていた
だけのようなまち作りをして行かな

バスに乗って安佐動物園へ行こう

今年は、コロナ感染拡大の影響から、
残念ながら諸行事も中止あるいは延
期が続きました。



「バスに乗って安佐動物園へ行こう」に
参加した「あやめ会」の皆さん

ければならないと思っております。

（広報担当）進む高齢化、空き家問
題をメーンに、あさひが丘団地を取
り巻く課題について貴重なご意見を
聞かせていただきました。

今日はコロナの感染防止のため、
ドアと窓を開け放つての寒い座談会
となりましたが、ご協力くださりあ
りがとうございました。

あやめ会事務局長 坪井博昭

全国的にも徐々に緩和の兆しが見
え始めた10月23日、安佐動物園へバ
スで行くこととなりました。バスの減
便対策の一環として企画したもので、
バス利用の促進を図るという大きな
目的があったわけですね。団地の一員と
して、将来にわたって、これまでどお
りのバスの運用を期待するのは当然
であります。

実は動物園の散策は3年前に少人
数で行いましたが、今回は豪華な弁当
と飲み物付きの案内から35人が参
加しました。

当日は前日の雨から一転、皆の気持
ちが通じて秋晴れの好天となりました。
連合自治会の尾田会長も飛び入り
で参加くださいました。

午前10時に正面入口に予定通り、全

員集合。まずは南園長さんから「動物
園もお陰で50周年を迎え来園者も増
加、動物達もコロナに負けず元気にし
ています」との歓迎の挨拶があり、尾
田会長からも「バス利用の促進に協力
いただき感謝します」との謝辞を頂戴
しました。

入園後は早速、恒例の「団体様ご一
行の記念写真」です。少しでも若く、い
い写りを意識しながらハイチーズで
パチリ。レストランに一旦、全員が集
合したのを確認し、自然と4、5人で
の自由散策となりました。

園内は、家族連れのほか、35台の貸
し切りバスで来園した園児や児童達
で大賑わいでした。

昼前にレストランで着席。先ほどの
園児と児童達は青空天井の下でおい
しく弁当を食べているであろうと思
いつつ、私共もいざ乾杯、楽しい昼食
会がスタートしました。

腹八分目で飲み食いを終え、それぞ
れが心地よい少しの疲労を感じなが
ら、バスで帰宅の途に就きました。

このたびの動物園散策で、バス利用
の促進に微力ながら協力できたので
あれば幸いです。

広報誌発行

あさひが丘連合自治会広報部

部長 小笠原優

電話 8381-2568

連合自治会事務局